

～ 秩父銘仙フェスティバルと 銘仙カフェの設置による商店街振興事業 ～

11月中旬の3日間、「秩父銘仙フェスティバル」と称して、地場産業の秩父銘仙（平織の絹織物）の展示や機織りの実演の他、銘仙を着たスタッフによるカフェや街バルを実施。これにより、観光客や新規来街者などを呼び込み歩行者通行量、空き店舗とも当初の目標を達成している。

所在地：埼玉県秩父市宮側町18-2
TEL・FAX：0494-24-8856
URL：<http://www.miyanakawa.com/>
組合員数：107名
商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景



秩父市中心市街地の北側に位置し、秩父の総社である秩父神社に隣接している商店街。地域の織物である「秩父銘仙」が、平成25年12月に国から伝統的工芸品としての指定を受けたことから、「秩父銘仙」を使ったイベントとして、銘仙の制服によるおもてなしや、展示コーナー、機織りの実演などを実施。厳しい環境にある商店街の活性化策として、地場産業との連携によって街そのもののイメージアップと知名度向上を図り、来街者促進につなげることを目的とした。

実施した事業の概要

【秩父銘仙フェスティバルの開催】(平成26年11月14日～16日)

①秩父銘仙展示コーナーの設置(11月14日～16日の3日間)

地域の交流や観光拠点として利用されている「ほっとすぽと秩父館」を会場として、秩父銘仙展示コーナーを開設。着物や反物など銘仙織りの展示及び銘仙グッズ、織物製品の販売会を実施した。

②秩父銘仙機織りの実演(11月15～16日の2日間)

ちちぶ銘仙館から上記会場に織機を持ち込み、同館のスタッフが1日3回、計6回の実演を行った。

③銘仙カフェの設置(11月14日～16日の3日間)

上記会場に銘仙カフェを設置し、スタッフが秩父銘仙で作ったユニフォームを着用し、来場者をもてなした。

④秩父銘仙バルの開催(11月14日～16日の3日間)

商店街内の飲食店22店舗が参加して実施。参加店の店頭で秩父銘仙柄の木綿生地を装飾して、銘仙バルの雰囲気を出した。参加店は、秩父銘仙のユニフォーム（前掛け）を着てお客様を出迎え、本事業期間内限定のメニューを提供した。

3日間で使い残したバル・チケットは、後バルとして11月24日まで使用できることとしたため、チケット購入者全員がバルを利用できた。また、チケット購入者の特典として、秩父銘仙携帯ケースを抽選でプレゼントした。



成果と成功の要因



本事業により商店街を秩父銘仙で飾り付けたことで、銘仙イベントらしい雰囲気や大いに醸し出し、商店街活性化につながったとともに、バル参加店に対しても十分な経済効果をもたらすことができた。結果として、事業実施後では、当初目標以上の来街者の増加が達成されるとともに、空き店舗の減少にも結び付いた。

本事業が成功した要因としては、若手後継者や女性メンバーが率先して事業運営に取り組んでくれたことや、機織りの実演等をお願いしたちちぶ銘仙館のスタッフをはじめ地域関係機関の支援を得たことによるものと考えている。

今後の取り組み

本事業の成功を踏まえ、今後も秩父銘仙を活かしたイベントを継続し、商店街活性化の効果を維持していく予定である。

資金面では、組合の自己財源に加え、街バルに参加する店舗からの参加費用や、引き続きちちぶ銘仙館と連携することによる経費の節減により対応可能と考えている。